# 令和5年度　学校評価　集計表

| NO | | | 項　　目 | R5年度主な取組状況 | 評価 R４年度 職員 | 評価 R４年度 生徒 | 評価 R４年度 保護者 | 評価 R５年度 職員 | 評価 R５年度 生徒 | 評価 R５年度 保護者 | 評価 比較 職員 | 評価 比較 生徒 | 評価 比較 保護者 | 学校 次年度（R6）へ向けた対応 | 学校運営協議会 各委員の評価 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 学校運営協議会 各委員からのご意見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 確かな学力の定着 | (1) | 教科書等の忘れ物をしない。 | ・学校に置いてもよい教科書等の周知<br>・個人用整理ファイル（ロッカー）の活用<br>・教科担任による指導 | 3.20 | 3.46 | 3.17 | 3.20 | 3.39 | 3.34 | 0.00 | −0.07 | 0.17 | ・明日の授業の確認を帰りの会で確実に行う。<br>・ロッカールームの整理整頓の徹底 | B | B | A | C | B | A | B | B | A | ・タブレット端末等に対する評価が、R4年度に対して、R5年度は、生徒・保護者はアップしているのに、職員ではダウンしています。職員の方は、年齢差があり、評価が難しいのでは？頑張ってください。<br><br>・家庭学習の数値の低さ気になります。小学校でも宿題さえ終わらせれば…という子がほとんどなので。<br><br>・タブレット等の取扱注意が必要になってくると思います。<br><br>・ICTの活用ができている。 |
| | | (2) | 授業中、私語や勝手なことをしない。 | ・「授業中のマナー」の掲示<br>・教師側の授業改善研修（ＩＣＴ活用等）<br>・教師と生徒による話し合いの場（意見交流会「授業改善部会」「家庭学習部会」）の設定 | 3.07 | 3.03 | 3.17 | 3.00 | 3.11 | 3.34 | −0.07 | 0.08 | 0.17 | ・教師主導の指導ばかりではなく、生徒会や学級委員、座席の決め方、学習リーダーの育成などの取組を継続して行う。 | | | | | | | | | | |
| | | (3) | 「立腰」「黙想」を行い、集中して学習できている。 | ・授業中の教師による適切な指導<br>・授業開始時の立腰・黙想 | 3.07 | 3.18 | 3.16 | 3.10 | 3.23 | 3.16 | 0.03 | 0.06 | 0.00 | ・委員会と連携して定期的にチェックする。 | | | | | | | | | | |
| | | (4) | タブレット端末や学ボード等を利用し、意欲的に学習できている。 | ・職員研修（活用の仕方や効果的な活用事例について共有） | 3.20 | 3.21 | 2.86 | 3.05 | 3.39 | 3.18 | −0.15 | 0.18 | 0.32 | ・タブレットの使い方を、再度、生徒と共通理解する。<br>・授業での効果的な使い方について、検証を進めていく。 | | | | | | | | | | |
| | | (5) | 自主学習ノートや宿題等を提出できている。 | ・学年担当による自学ノート点検と個別指導<br>・定期テスト前の漢字・計算・英単語大会（朝自習時間）<br>・教師と生徒による話し合いの場（意見交流会「学校生活部会」）の設定 | 3.27 | 3.45 | 3.24 | 3.00 | 3.24 | 3.34 | −0.27 | −0.20 | 0.10 | ・帰りの会前の自学タイムを有効に使えるよう時間の工夫等が必要である。<br>・各学年における生徒の自学ノート紹介を継続して行う。 | | | | | | | | | | |
| | | (6) | 家庭学習（1,2年90分以上、3年生120分以上）ができている。 | ・県学力調査（質問紙）の分析<br>・自学ノートの活用<br>・定期テストへ向けた学級委員会の「めざせ２０時間」の取組 | 2.29 | 2.69 | 2.30 | 2.20 | 2.83 | 2.57 | −0.09 | 0.14 | 0.27 | ・各教科担当と学年部が連携して取り組んでいく。 | | | | | | | | | | |
| 2 | 豊かな心の育成 | (7) | 学校のきまり（頭髪や服装、遅刻しない）を守ることができている。 | ・あいさつ運動の充実<br>・生活安全委員会の活動<br>・その場での適切な指導<br>・学級通信や通知表の活用 | 3.19 | 3.51 | 3.45 | 3.36 | 3.58 | 3.60 | 0.18 | 0.06 | 0.15 | ・きまりを守ることができない生徒の原因や背景を探り、教育相談へとつなげていく。 | B | B | A | B | B | A | B | B | A | ・あいさつを自主的にしてくれる生徒が多いと思う。<br><br>・あいさつ運動の充実が見られる。<br><br>・あいさつについて、以前に比べて子どもたちの方からすすんでやってくれるようになった。<br><br>・生徒会執行部がよく取り組んでいる。人権学習の取組やSCかつようによる悩みやいじめの早期発見等について、職員の評価が低いが、意識を高く持ってよく取り組んでおられる。 |
| | | (8) | 笑顔で、大きな声で挨拶できている。 | ・親子あいさつ運動の実施<br>・朝のボランティア活動の実施<br>・生徒集会での生徒会執行部による呼びかけ | 3.31 | 3.37 | 3.04 | 3.45 | 3.44 | 3.30 | 0.14 | 0.07 | 0.26 | ・まずは教職員が明るく笑顔で生徒と向き合うことができるよう継続していく。 | | | | | | | | | | |
| | | (9) | 人をいじめない、差別しない、人の嫌がることを言わずに生活できている。 | ・道徳や人権学習の計画的な取組<br>・ＳＣを活用した悩みやいじめの早期発見、早期対応<br>・定期的な教育相談の実施<br>・言語環境の整備<br>・人権作文の取組、人権集会実施 | 3.19 | 3.57 | 3.37 | 3.09 | 3.68 | 3.65 | −0.10 | 0.11 | 0.28 | ・人権学習や人権作文、人権集会等の取組で見られる、温かくつながる姿勢を、日頃の学校生活にもつなげていく。 | | | | | | | | | | |
| | | (10) | 夢の実現に向けて、自分を高めるために日々努力している。 | ・個々の夢や目標の掲示<br>・前期目標、後期目標の掲示<br>・「夢の教室」の実施<br>・キャリアパスポートの活用<br>・ＧＯＬＤ賞（校長賞）の表彰 | 3.06 | 3.31 | 2.78 | 2.95 | 3.30 | 2.92 | −0.11 | −0.01 | 0.14 | ・自分を見つめ直し、更なる具体的な目標設定へつなげていくために、それぞれ目標を立てることができているので、キャリアパスポートなどに綴じ込みながら、ふり返りと反省も加え | | | | | | | | | | |
| | | (11) | 委員会や学級の係、当番の仕事に責任を持って取り組むことができている。 | ・各委員会や係・当番活動を通した自己有用感の涵養<br>・教師と生徒が一体となった委員会活動の活性化<br>・教師と生徒による話し合いの場（意見交流会「学校生活部会」）の設定<br>・職員間の連携、情報交換 | 3.38 | 3.53 | 3.38 | 3.29 | 3.52 | 3.59 | −0.09 | −0.01 | 0.22 | ・今後も生徒会活動や係活動の活性化を図っていく。そのことにより、自分の活躍の場ができ、居場所づくりにつながり、ひいては自尊感情を高めることにつながる。<br>・学年会や運営委員会等を活用し、職員間の連携や情報交換をより一層密に行っう。 | | | | | | | | | | |
| | | (12) | 大切にしたい「ABC−時」を意識して生活できている。 | ・集会等での校長講話<br>・全職員による日常における意識的な指導<br>・ＧＯＬＤ賞（校長賞）の表彰 | 3.19 | 3.18 | 3.04 | 3.14 | 3.34 | 3.27 | −0.05 | 0.16 | 0.23 | ・『大切にしたい「ABC−時」』などのように、学校として大切にしたい事柄を、今後も機会あるごと意識的に伝えていく。 | | | | | | | | | | |
| 3 | 健康安全教育の推進 | (13) | 早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣が身についている。 | ・保健だよりの発行<br>・学校と家庭の連携 | 3.27 | 3.31 | 3.03 | 3.14 | 3.44 | 3.18 | −0.12 | 0.12 | 0.15 | ・朝食の摂取とともに食事の内容も重要である。栄養バランスや水分補給の仕方など、今後も継続して指導・啓発していく。 | B | B | A | C | B | B | B | C | B | ・毎年4月には新入生が入学し、自転車で通学されます。特に、新1年生に対しては、登下校の指導が大変だと思います。自転車のマナーに対して、気を付けて見守っていきたいと思います。<br><br>・自転車のマナーが課題。統合するので、更に指導をお願いしたい。<br><br>・家庭での携帯電話ルールは、保護者がスマホ世代なので、厳しいですね。<br><br>・4月からの統合に向けて、自転車のマナーやルールの再確認が必要なのかもと思います。<br><br>・自転車のマナーや安全面について、生徒会執行部や生活安全委員会の取組が見られる。 |
| | | (14) | 自転車のマナーやルール（ヘルメット・タスキ・安全運転）を守っている。 | ・登下校時の指導<br>・部活担当者による指導<br>・生活安全委員によるポスター等での呼びかけ | 3.44 | 3.69 | 3.54 | 3.19 | 3.82 | 3.72 | −0.25 | 0.13 | 0.18 | ・大切な命を守るため、今後も交通安全教室や安全指導を行い、下校時の正門または大きな道路から1本中に入った道路での安全確認や、自転車利用のマナー指導を継続していく。 | | | | | | | | | | |
| | | (15) | 掃除を時間いっぱい一所懸命できている。 | ・環境委員会の取組<br>・生徒のリーダーでの始めと終わりの会実施<br>・学年縦割り班による無言掃除の徹底 | 3.31 | 3.51 | 3.31 | 3.36 | 3.53 | 3.46 | 0.05 | 0.02 | 0.15 | ・年度始めの「掃除」「交通マナー」などのオリエンテーションを効果的に実施していく。また、環境委員長と掃除リーダーの声かけによって無言掃除を徹底させる。 | | | | | | | | | | |
| | | (16) | 給食に感謝し、残さず食べることができている。 | ・学年部を中心とした給食指導<br>・給食委員会による準備<br>・片付けコンクールの実施<br>・給食当番チェックカードの活用<br>・学校栄養職員による日々の食育指導 | 3.40 | 3.61 | 3.46 | 3.18 | 3.58 | 3.49 | −0.22 | −0.04 | 0.03 | 今後も継続して、学校栄養職員（栄養教諭）を中心に、食育指導を行っていく。 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (17) | スマートフォンやゲーム等は、家庭でルールを定めて利用している。 | ・ＰＴＡ懇談会での啓発 | 2.79 | 3.21 | 2.82 | 2.75 | 3.13 | 2.79 | −0.04 | −0.09 | −0.03 | ・スマートフォンやゲームの使い方については保護者の協力が不可欠なので、懇談会や講演会をとおして何度もお願いしていく。 | | | | | | | | | |
| 4 | 潤いのある教育環境 | (18) | 学校にある道具や施設を大切に利用している。 | ・靴箱、スリッパなど整理の仕方（写真）の掲示<br>・体育委員会からの呼びかけ<br>・安全点検の確実な実施 | 3.38 | 3.68 | 3.38 | 3.18 | 3.78 | 3.55 | −0.19 | 0.10 | 0.18 | ・毎日ヘルメットを荷台にくくったり、花がいつもきれいに咲いていたりする環境を保つこと、またその環境づくりに携わる人、仲間への感謝を伝えていきながら、この状態を守ろうとする意識を高めていく。<br>・委員会からの呼びかけを行い、自浄作用の中で整理整頓の意識を高める。 | B | B | B | B | B | A | B | B | A | ・職員の評価が下がっているのが気になります。<br><br>・学校へ行く機会が少ないため、親の目からは、分からないことが多い。<br><br>・クリーンウォーク等、ボランティアへの参加・協力ができていると思います。 |
| | | (19) | 自転車小屋等の環境整備に努めている。（自転車を並べる・ヘルメットをくくる等） | ・職員による自転車小屋のチェック<br>・自転車の並べ方の見本の掲示<br>・生活安全委員会による朝の活動、自主活動・環境ボランティア委員会の活動<br>・部活動による朝のボランティア活動 | 3.67 | 3.66 | 3.47 | 3.38 | 3.74 | 3.53 | −0.29 | 0.08 | 0.06 | | | | | | | | | | | |
| | | (20) | 教室や校舎の掲示物が充実している。 | ・教室内、校内掲示の充実<br>・学校行事の写真や新聞記事等を掲示した生徒の活躍紹介<br>・委員会活動による掲示 | 3.19 | 3.48 | 3.12 | 3.19 | 3.57 | 3.25 | 0.00 | 0.09 | 0.13 | | | | | | | | | | | |
| | | (21) | 机や椅子、ロッカーの整理整頓ができている。 | ・日直や帰りの会での取組<br>・授業開始時における指導<br>・委員会による調査 | 3.27 | 3.49 | 3.13 | 3.10 | 3.49 | 3.27 | −0.17 | 0.00 | 0.14 | | | | | | | | | | | |
| 5 | 学校生活全般 | (22) | 学校行事（運動会・合唱コンクール・駅伝大会等）に積極的に取り組んでいる。 | ・生徒の意見を大切にし、生徒が主体性を持って取り組む活動<br>・生徒の自主性と意欲を高める教員の関わり<br>・全校生徒全員に活躍の場がある行事の工夫・企画、運営を自分たちで取り組ませていく工夫 | 3.69 | 3.64 | 3.43 | 3.77 | 3.81 | 3.48 | 0.09 | 0.17 | 0.05 | ・4月から統合するが、今後も一人一人に役割を持たせ、しっかりと果たせるよう声かけと見守りをしていく。 | B | A | B | A | B | A | B | B | A | ・来年度から中学校が統合され、いろいろと難しい面があるかと思いますが、頑張ってください。<br><br>・コロナに対する規制が緩和され学校行事が多くなり、活発になってきている。部活動を中心にあいさつや活動が増えてきており、よいと思う。 |
| | | (23) | 部活動からマナーやチームワークの大切さを学んでいる。（入部生のみ） | ・各部活動での挨拶、礼儀、マナー等の指導<br>・日々の活動の充実<br>・朝のボランティア活動への参加、充実 | 3.47 | 3.45 | 3.07 | 3.40 | 3.26 | 3.58 | −0.07 | −0.19 | **0.51** | | | | | | | | | | | |
| | | (24) | 学校からの便りや学校ホームページで学校の様子を知ることができる。 | ・学校ホームページの定期的な更新<br>・学校便り、学級通信の配布<br>・安心・安全メールの活用 | 3.81 | 3.40 | 3.02 | 3.82 | 3.58 | 3.33 | 0.01 | 0.18 | **0.31** | ・学校ホームページは、今後も定期的な更新により、教育活動の情報を発信していく。<br>・学級通信は、家庭（保護者）と学校をつなぐ手段として、今後も可能な範囲での発行を行う。 | | | | | | | | | |
| 6 | 働き方改革 | (25) | 学校で働き方改革は進んでいる。 | ・定時退勤推奨日の設定<br>・部活動時間の短縮　・行事のスリム化 | 2.81 | | | 3.00 | | | 0.19 | | | ・4月から統合し職員増となるが、風通しの良い職場環境づくりにより協働の意識を高め、さらに働き方改革への意識を高める。 | | | | | | | | | |
| | | (26) | 働き方改革に意識して取り組んでいる。 | ・指針に沿った部活動運営<br>・自身によるタイムマネジメント　・業務の軽重化 | 3.00 | | | 3.18 | | | 0.18 | | | | | | | | | | | | |